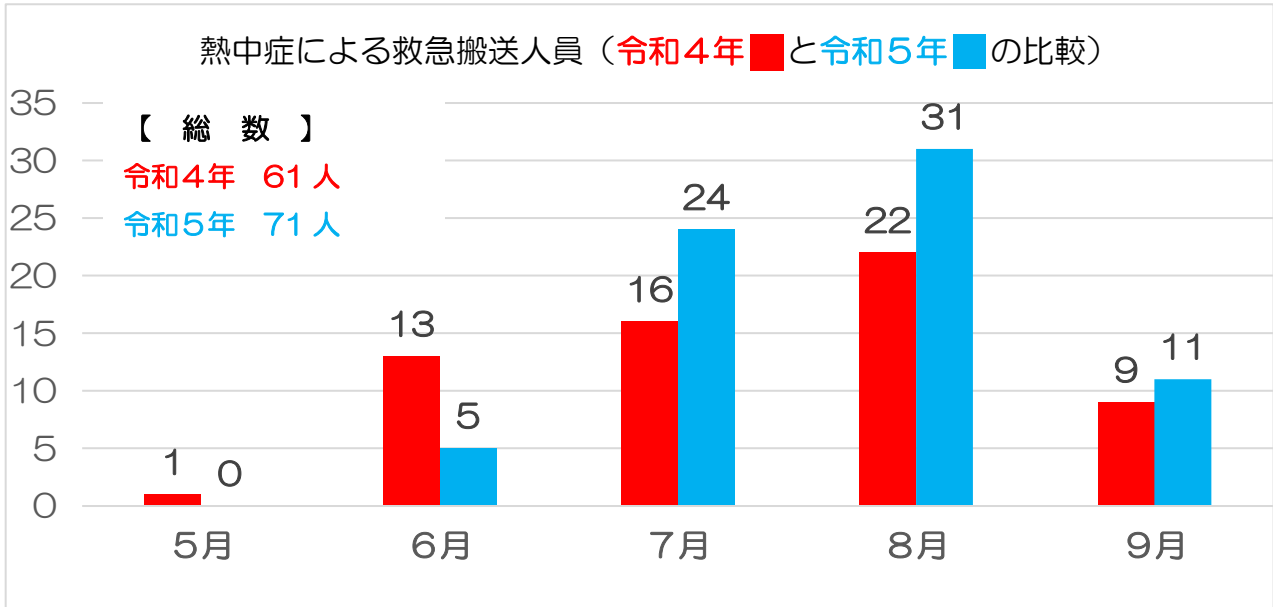


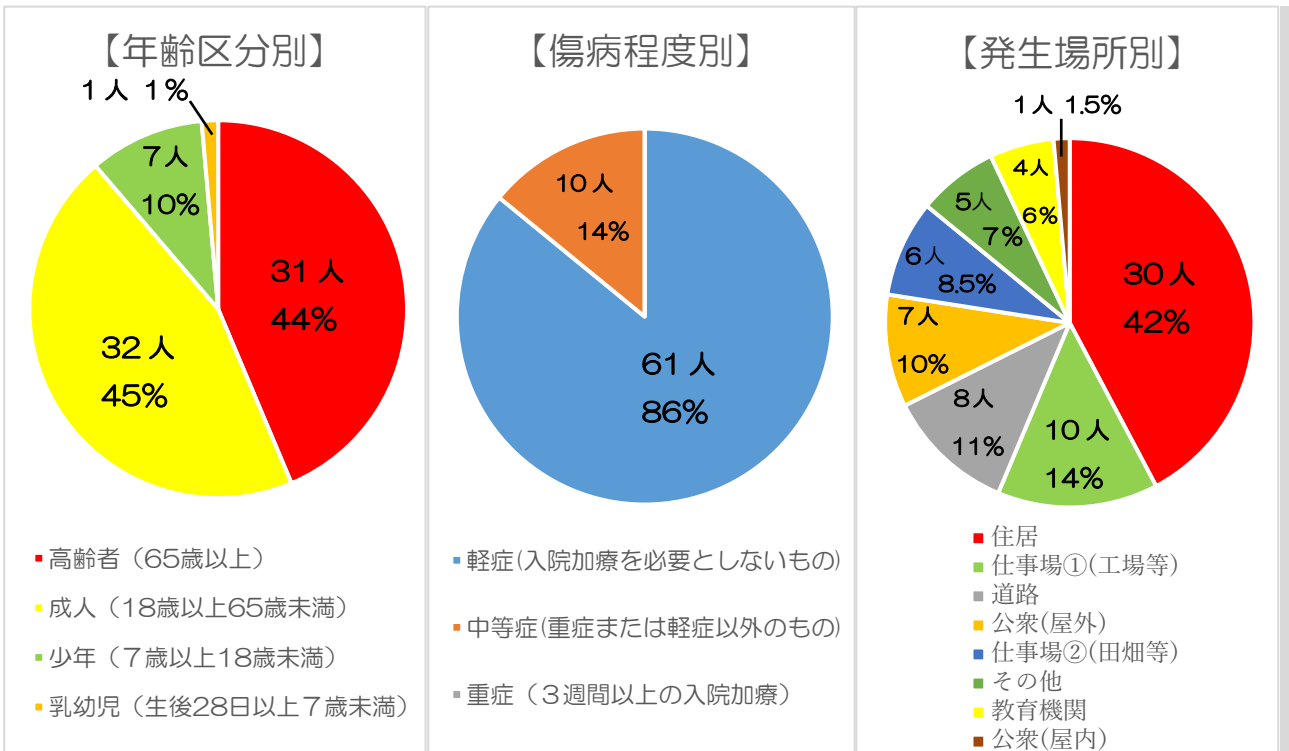
今夏の熱中症について



令和5年5月から9月までの熱中症による救急搬送人員は **71人** でした。
 (田辺市消防本部管内)



熱中症による救急搬送状況 (令和5年5月~9月)
 (田辺市消防本部管内)



年齢区分別では、高齢者が44%、成人が45%となっています。
 傷病程度別では、14%の方が入院が必要な中等症となっています。
 発生場所別では、42%の方が住居(敷地内全ての場所を含む)での発生となっています。

熱中症による救急搬送事例

～ ケース① ～

高齢女性、自宅で普段どおりの生活をしていたところ、立ち上がった際にふらつき、一時的に意識を失ったもの

現場の状況：エアコンを使用しておらず、室内は高温であった。

～ ケース② ～

高齢男性、農作業中に気分不良が起こり、自力で動くことが困難になったもの

現場の状況：高温多湿環境であった。水分摂取が不十分であった。

～ ケース③ ～

成人男性、屋外で仕事中、ふらついた後、全身性のけいれん発作が起こったもの

現場の状況：高温多湿環境であった。

救急搬送事例のとおり、高温環境下で過ごしていることやこまめに水分を摂取できていないことが、熱中症の主な原因と考えられます。

熱中症を予防するには、エアコンや扇風機などで室温を調節し、喉の渇きを感じなくてもこまめに水分補給することが重要です。

来年以降も熱中症の予防に取り組んでいきましょう。